

食品新聞

発行所 食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪府北区南森町2-3-30
電話 06(6361)4972
東京都中央区大塚1-1-8
電話 03(552)3756-4031
名古屋市中区丸の内2-10-11
電話 052(221)539140
©食品新聞社 2018
THE JAPAN FOOD NEWS
創刊 1947年

世界の海苔を... 世界の人人々に

国際海苔産地 提携と信頼の 株式会社 ヤマコ

砂糖決算

くもり 環境厳しく好転困難 砂糖情報の発信試へ

富士の国 抹茶とよ

池島フーズ株式会社 TEL053-587-1025

かけるオイル 需要拡大

家庭用油市場

「20年度に400億円規模目指す」(日清オйл)

家庭用食用油市場で、かけるオイルの需要が拡大している。オリーブオイルやアマニ油、ごま油などを、さまざまなニューにかけて楽しむ、新たな使い方が注目されている。食用油メーカー各社は、開封後の鮮度を保持する密封ボトルのラインナップも強化し、かけるオイルの提案に力を入れている。



日清オイルグループ社長は、ホームユースによる「ホームユース 重点分野」として、かけるオイルの強化を挙げ、市場は13年度から年々「商品展開と提案強化」で成長を続け、20年度には約400億円に拡大する見込みを示した。日清オイルは、約350億円に引き上げた。20年度には約400億円に引き上げた。20年度には約400億円に引き上げた。

「A J N O M O T O 破した。業務別の市場規模は別表の通り。CVS(コンビニ)が30%の成長を遂げ、市場を牽引した。『専門店』は横ばい。『百貨店』は横ばい。20日に協会が発刊した「2018年版惣菜白書」は、今年で発行14年目を迎える。18年版では惣菜専門店、百貨店、量販、CVSなど6万6千561店(100社)の小売店における販売動向調査を実施。惣菜業界唯一の統計資料として、惣菜市場の動向と消費者調査の結果などを掲載している。

日本アクセス 連結2.4兆円へ布石連打

EC・海外市場など積極深耕

日本アクセスは今年度(2018年度)を中核3年計画でEC・海外など新市場への対応とフルライン化を加速する。「New Access Way」を推進し、創造と進化をテーマとした同計画では最終20年度の連結売上高を2兆4千億円(17年度比2.3倍増)、経常利益を400億円(同24.5倍増)に設定。ファミリーマートへの供給増に伴って大幅増収ペースが弱まる中、将来性の高いEC向けの物流機能開発やM&Aによる菓子・酒類の拡充によって持続的成長力を確保する。

EC・海外市場など積極深耕。物流の集約・合理化によるコスト削減が期待される。また、海外市場への展開も進められている。

17年の惣菜市場規模 10兆555億円に

日本惣菜協会がまとめた、17年の惣菜市場規模は10兆555億円(前年比2.2倍増)となり、初めて10兆円の台を突破した。

項目	15年		16年		17年	
	売上高	前年比	売上高	前年比	売上高	前年比
専門店ほか	28,782	30	29,024	29.5	29,203	29.1
百貨店	3,712	3.9	3,674	3.7	3,643	3.6
総合スーパー	9,169	9.6	9,148	9.3	9,212	9.2
食品スーパー	24,525	25.6	25,417	25.8	26,205	26.1
CVS	29,643	30.9	31,133	31.6	32,289	32.1
合計	95,813		98,399	102.7	105,555	107.2

登板

東洋製罐グループHD 次期代表取締役社長 大塚 一男氏

大塚次期社長と中井次期会長。大塚氏は、海外経験がクリー、チャレンジ、デが中心になる。革新的な高まっていることか、今後の技術や工場の進捗を重視する。また、海外での展開も進められている。

「今後は包装容器が中心」

素材と技術の融合で新価値提案。包装容器の重要性が増している。また、海外での展開も進められている。

アルミボトル缶は多品種・小ロットへ

環境に優しいアルミボトル缶の需要が増えている。また、海外での展開も進められている。

逆光線

リニア開通で起る変化。逆光線と呼ばれる現象が起る。また、海外での展開も進められている。

梅の目

6月6日は「梅の日」のいわれ

今を遡ること四百六十余年の大昔、日本中に晴天が続く。梅が育たず、田植えもできず人々が困りはてていました。折しも六月六日、神様のお告げにより、時の天皇が賀茂神社に詣で、梅を賀茂別雷神に奉納して祈ったところ、たちまち雷鳴とともに大雨が降りはじめ、五穀豊穡をもたらしました。人々は、その天恵の雨を「梅雨」とよび、梅に感謝するとともに、災いや疫病を除き、福を招く梅を梅法師と呼んで、贈り物にするようになったといわれています。紀州梅の会では、このお話が、宮中の日記「御湯殿上の日記」に、記されていたことから、その故事にちなみ、6月6日を「梅の日」と定めました。

紀州梅の会

「梅の日」特選紀州梅干に関するお問合せ先 TEL 0739(74)2308